

# インストールガイド (Windows Server 2025 プリインストール製品編)

NEC Expressサーバ  
Express5800シリーズ

## Express5800/T110m-S Express5800/T110m

- 1章 Windows のインストール
- 2章 保守
- 3章 付録

---

# 目次

---

目次	2
はじめに	4
表記	5
本文中の記号	5
「光ディスクドライブ」の表記	5
「ハードディスクドライブ」の表記	5
「リムーバブルメディア」の表記	5
オペレーティングシステムの表記	6
「製品名」の表記	6
商標	7
本書に関する注意と補足	8
最新版	8
1章 Windows のインストール	9
1. セットアップを始める前に	10
1.1 インストール可能な Windows OS	11
1.2 インストールオプションについて	11
1.3 サポートしている大容量記憶装置コントローラー	12
1.4 サポートしているオプションの LAN ボード	12
2. オペレーティングシステムのセットアップ	13
3. Windows Server 2025 のセットアップ	14
3.1 セットアップ前の確認事項	14
3.2 プリインストールモデルのセットアップ	16
3.2.1 セットアップをはじめる前に（購入時の状態）	16
3.2.2 セットアップの手順	17
4. デバイスドライバーのセットアップ	21
4.1 LAN ドライバーのインストール	21
4.1.1 LAN ドライバーについて	21
4.1.2 オプションの LAN ボード	21
4.1.3 ネットワークアダプター名	22
4.2 LAN ドライバーのセットアップ	23
4.2.1 リンク速度の設定	23
4.2.2 フロー制御 (Flow Control) の設定	23
4.2.3 Wake On LAN の設定	24
4.3 グラフィックス アクセラレータ ドライバー	24
4.4 オプションのグラフィックスアクセラレータカードを使用する場合	24
4.5 SAS コントローラー(N8103-199)を使用する場合	25
4.6 オンボードの RAID コントローラーを使用する場合	25
4.7 RAID コントローラー(N8103-225/232/233/234/235)を使用する場合	25
5. Windows Server 2025 NIC チーミング(LBFO)の設定	26
5.1 NIC チーミング設定ツールの起動	26
5.2 チームの作成	26
5.3 チームの削除	27
5.4 注意・制限事項	27
6. 障害処理のためのセットアップ	29
6.1 メモリダンプ（デバッグ情報）の設定	29
6.2 ユーザーモードのプロセスダンプの取得方法	35

7. プリインストールモデルの再セットアップ .....	36
8. 未インストールモデルのセットアップ .....	36
2 章 保 守 .....	37
1. トラブルシューティング .....	38
1.1 内蔵デバイス、その他ハードウェア使用時のトラブル .....	38
2. Windows システムの修復 .....	39
2.1 Windows Server 2025 の修復 .....	39
3 章 付 録 .....	40
1. Windows イベントログ一覧 .....	41
改版履歴 .....	52

---

# はじめに

---

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

Windows Server 2025をプリインストールモデルで購入後のセットアップは、  
本書の「インストレーションガイド(Windows Server 2025 プリインストール製品編)」を参照してください。

本書は、次のWindows Server 2025 対応 差分モジュール(Starter Pack)を対象としています。

対象のバージョン	
差分モジュール (Starter Pack)	<b>WS2025.10-001.01</b>

本機のファームウェア、ドライバー、ソフトウェアなどの注意事項は、Windows Server 2025 サポートキットの  
ダウンロードサイトを参照してください。

## Express5800/T110m, T110m-S Windows Server 2025 サポート情報




<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140109880>

本書は、必要なときにすぐに参照できるよう、大切に保管してください。

## 表 記

### 本文中の記号

本書では、3種類の記号を使用しています。これらの記号は、次のような意味をもちます。

	ハードウェアの取り扱い、ソフトウェアの操作などにおいて、守らなければならないことについて示しています。記載の手順に従わないときは、ハードウェアの故障、データの損失など、 <u>重大な不具合が起きるおそれがあります。</u>
	ハードウェアの取り扱い、ソフトウェアの操作などにおいて、事前に確認する点を示しています。
	知っておくと役に立つ情報、便利なことについて示しています。

### 「光ディスクドライブ」の表記

本機は、購入時のオーダーによって以下のいずれかのドライブを装備できます。

本書では、これらのドライブを「光ディスクドライブ」と記載します。

- DVD-ROM ドライブ
- DVD Super MULTI ドライブ

### 「ハードディスクドライブ」の表記

本書で記載のハードディスクドライブとは、特に記載のないかぎり、以下の両方を意味します。

- ハードディスクドライブ(HDD)
- ソリッドステートドライブ(SSD)

### 「リムーバブルメディア」の表記

本書で記載のリムーバブルメディアとは、特に記載のないかぎり、以下の両方を意味します。

- USB メモリ
- Flash FDD

## オペレーティングシステムの表記

本書では、Windows OS を次のように表記します。

本機でサポートしている OS の詳細は、「1 章（1.2 インストール可能な Windows OS）」を参照してください。

本書の表記	Windows OSの名称
Windows Server 2025	Windows Server 2025 Standard
	Windows Server 2025 Datacenter
	Windows Server 2025 Essentials

## 「製品名」の表記

本書は、下記の対象装置向けのドキュメントです。本文中に特に記載がない場合は、すべての製品についての説明となります。製品ごとに内容が異なる場合、それぞれについて製品名を記載した説明になっております。

対象装置は、次のとおりです。

Express5800/T110m-S

Express5800/T110m

---

## 商 標

---

EXPRESSBUILDERとESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。  
なお、TM、® は必ずしも明記していません。

---

## 本書に関する注意と補足

---

1. 本書の一部または全部を無断転載することを禁じます。
2. 本書に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 弊社の許可なく複製、改変することを禁じます。
4. 本書について誤記、記載漏れなどお気づきの点があった場合、お買い求めの販売店まで連絡してください。
5. 運用した結果の影響については、4 項に関わらず弊社は一切責任を負いません。
6. 本書の説明で用いられているサンプル値は、すべて架空のものです。

この説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いてください。

---

## 最新版

---

本書は作成日時点の情報をもとに作られており、画面イメージ、メッセージ、または手順などが実際のものと異なる場合があります。 変更されているときは、適宜読み替えてください。

また、説明書の最新版は、次の Web サイトからダウンロードできます。

<https://jpn.nec.com/>



# Windows のインストール

本書は、物理環境へのセットアップの手順を説明しています。

ここで説明する内容をよく読み、正しくセットアップしてください。

## 1. セットアップを始める前に

本書で説明する対象モデルやインストール可能な Windows OS や、大容量記憶装置用コントローラーについて説明しています。



オプションのグラフィックスアクセラレータカードが搭載されている場合は、カードに添付されているグラフィックスアクセラレータのスタートアップガイドおよびユーザーズガイドの内容を確認し、BIOS の設定を正しく行ってください。

## 2. オペレーティングシステムのセットアップ

セットアップの大きな流れについて説明しています。

## 3. Windows Server 2025 のセットアップ

Windows Server 2025 のセットアップについて説明しています。

## 4. デバイスドライバーのセットアップ

各種ドライバーのインストールとセットアップについて説明しています。

## 5. Windows Server 2025 NIC チーミング(LBFO)の設定

Windows Server 2025 NIC チーミング(LBFO)の設定について説明しています。

## 6. 障害処理のためのセットアップ

問題が起きたとき、より早く、確実に復旧できるようにするためのセットアップについて説明しています。

## 7. プリインストールモデルの再セットアップ

Windows Server 2025 を再セットアップするときに確認していただきたい内容について説明しています。

## 8. 未インストールモデルのセットアップ

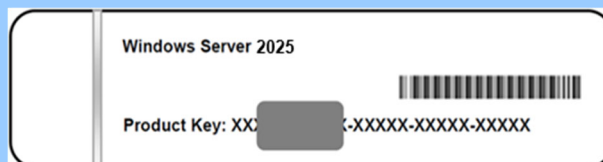
Windows Server 2025 をセットアップするときに確認していただきたい内容について説明しています。

# 1. セットアップを始める前に

Windows オペレーティングシステムをセットアップするときの確認事項について説明します。



BTO(工場組込み出荷)で Windows のインストールを指定した場合は、本機に Windows のプロダクトキーが記載された Certificate of Authenticity(COA)ラベルが貼られています。



プロダクトキーは、ライセンス認証時に必要な情報です。プロダクトキーの一部を覆うスクラッチは、コインなどで“軽く”削ってください。削るときは、プロダクトキーの印字部分を傷つけないよう取り扱いにご注意ください。

もし、剥がれて紛失したり、汚れて見えなくなったりしたときでも、ラベルは再発行できません。プロダクトキーをメモし、他の添付品と一緒に保管することをお勧めします。

仮想 OS のインストールについては、下記を確認します。

## 仮想基盤が Hyper-V のとき

下記の web サイトより、Hyper-V 設定およびゲスト OS のインストール手順などについて確認します。

Windows Server 2025 : <https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140109865>

## 仮想基盤が Hyper-V 以外のとき

各仮想基盤ベンダーの資料を参考に、仮想基盤側の準備を行います。インストールする OS のメディアまたは ISO イメージをご用意ください。

- ① 仮想マシンをインストールする OS のメディアまたは ISO イメージから起動します。
- ② 表示される画面の内容を確認し、OS インストールを完了します。
- ③ 各仮想基盤ベンダーの資料を参考に、必要なサービスやアプリケーションを、適宜インストールします。

## 1.1 インストール可能な Windows OS

以下の Windows OS(エディション)をサポートしています。エディションは 64 ビット版のみです。

Windows OS		ブートモード	
		UEFI	Legacy
Windows Server 2025	Standard	○	—
	Datacenter	○	—
	Essentials ※	○	—

○ : サポート

※ デスクトップ エクスペリエンスのみ

## 1.2 インストールオプションについて

本書では、Windows Server 2025 のインストールオプションを以下のように表記します。

- GUI ベースのインストールオプション  
本書では「デスクトップ エクスペリエンス」と呼びます。
- CLI ベースのインストールオプション  
本書では「Server Core」と呼びます。

## 1.3 サポートしている大容量記憶装置コントローラー

以下の大容量記憶装置コントローラーをサポートしています。

下記以外のコントローラーを使うときは、コントローラーに添付の説明書を参照してください。

	T110m-S	T110m
差分モジュール(Starter Pack)にて OS のインストールをサポートしているコントローラー		
オンボードの RAID コントローラー	○	○
N8103-225 RAID コントローラー(4GB RAID 0/1/5/6)	○	○
N8103-232 RAID コントローラー(RAID 0/1)	○	○
N8103-233 RAID コントローラー(2GB RAID 0/1)	○	○
N8103-234 RAID コントローラー(2GB RAID 0/1/5/6)	○	○
N8103-235 RAID コントローラー(2GB RAID 0/1)	○	○
その他のオプション		
N8103-199 SAS コントローラー	—	○

○ : サポート

## 1.4 サポートしているオプションの LAN ボード

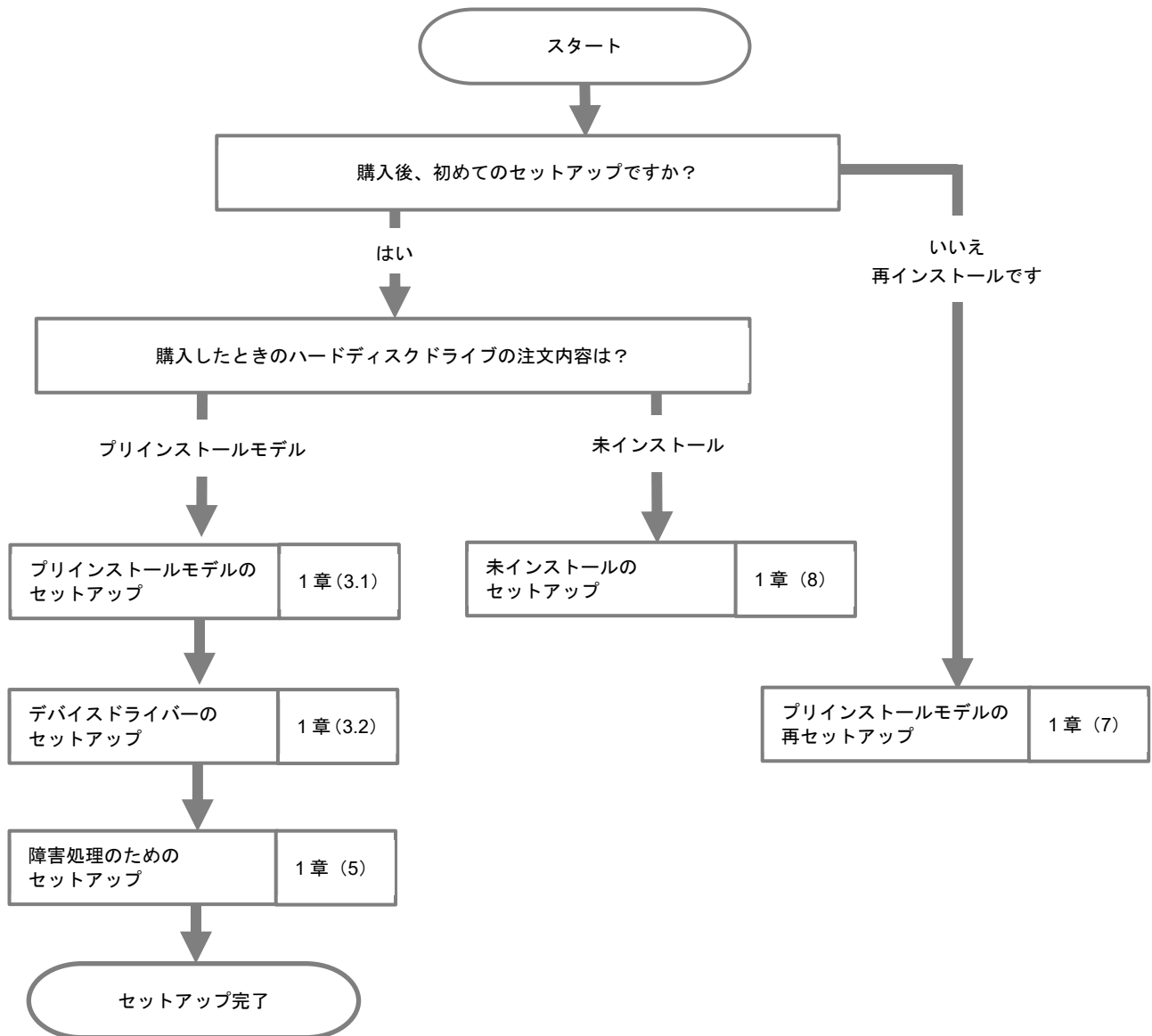
以下の LAN ボードをサポートしています。

	T110m-S	T110m
N8104-157A 10GBASE-T 接続ボード(2ch)	○	○
N8104-202 1000BASE-T 接続ボード(2ch)	○	○
N8104-203 1000BASE-T 接続ボード(4ch)	○	○

○ : サポート

## 2. オペレーティングシステムのセットアップ

次の図を参考に、本書を参照してセットアップしてください。



各種アプリケーションのインストールが必要な場合は、それぞれのインストレーションガイド(手順書)などを参照しインストールを行ってください。

## 3. Windows Server 2025 のセットアップ

### 3.1 セットアップ前の確認事項

セットアップを始める前に、ここで説明する注意事項について確認してください。

#### BIOS の設定

再セットアップするときは、BIOS 設定メニューの[FIXED BOOT ORDER Priorities]で光ディスクドライブが[Windows Boot Manager]より上位に設定されていることを確認してください。

##### 【正しい設定例】

###### [Boot] - [FIXED BOOT ORDER Priorities]

- Boot Option #1 [UEFI : 光ディスクドライブ]
  - Boot Option #2 [Windows Boot Manager]
- OS インストールメディアから起動できます。

##### 【誤った設定例】

###### [Boot] - [FIXED BOOT ORDER Priorities]

- Boot Option #1 [Windows Boot Manager]
  - Boot Option #2 [UEFI : 光ディスクドライブ]
- OS インストールメディアから起動できません。



チェック

- BIOS 設定メニューの表示前に OS インストールメディアを光ディスクドライブへセットしてから実施してください。
- [FIXED BOOT ORDER Priorities] に[Windows Boot Manager] が表示されていないときは、確認の必要はありません。

TPM Support の設定 が Enable であることを確認します。

ブリインストールモデルをご購入の場合、Enable に設定されています。

[Advanced] – [Trusted Computing] – [TPM Support] – [Enable]

Secure Boot は ブリインストールモデルをご購入の場合、Enable に設定されています。

#### Windows Serve 2025 のサポート

Windows Server 2025 のサポートに関連する詳細情報は、下記を参照してください。

Express5800/T110m, T110m-S Windows Server 2025 サポート情報

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140109880>

#### Windows Server 2025 Hyper-V のサポート

Windows Server 2025 Hyper-Vのサポートに関連する詳細情報は、下記を参照してください。

Windows Server 2025 Hyper-V サポートページ

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140109865>

### Windows Server 2025 NIC チーミングのサポート

従来、ネットワークインターフェースカード(NIC)ベンダーにて提供されていたNIC チーミング機能は、Windows Server 2025 に標準搭載しています。

Windows Server 2025 では、本機能を、"負荷分散とフェールオーバー(LBFO)"とも呼びます。

「1 章(5. Windows Server 2025 NIC チーミング(LBFO)の設定)」を参照し、必要に応じて設定してください。

### Windows Server Essentials

Windows Server 2025 Essentials をインストールする場合の Windows のセットアップ画面や OS インストール後の OS 表記が「Windows Server 2025 Standard」と表示されます。（Windows Server 2025 Essentials とは表示されません。）本表示は OS の仕様となります。

### Windows Update の適用

セットアップ完了後、必要に応じて Windows Update を適用して、システムを最新の状態に更新してください。

## 3.2 プリインストールモデルのセットアップ

「BTO(工場組込み出荷)」で「プリインストール」を指定した場合、パーティションの設定、オペレーティングシステム、およびバンドルソフトウェアがすべてインストールされています。



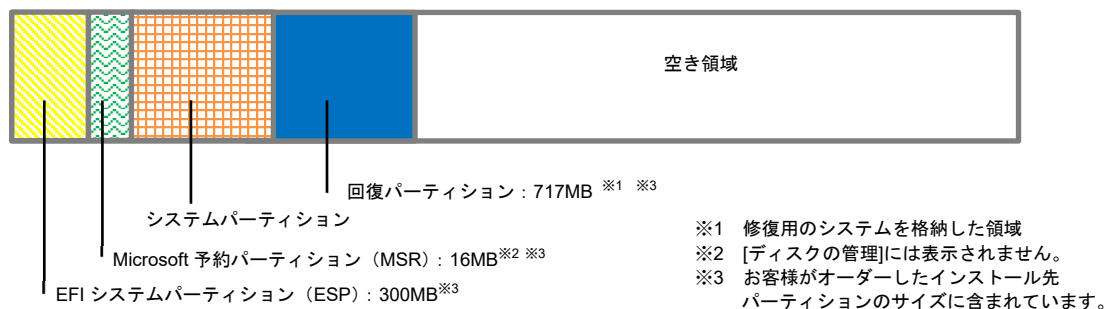
BTO でオプションのグラフィックスアクセラレータカードを組み込み指示した場合でもドライバーはインストールされていません。別途、カードに添付されているグラフィックスアクセラレータのユーザーズガイドに記載されている手順に従ってドライバーをインストールしてください。

ここでは、プリインストールモデルの製品で、初めて電源を ON にするときのセットアップについて説明します。再セットアップするときは、「1 章(7. プリインストールモデルの再セットアップ)」を参照してください。

### 3.2.1 セットアップをはじめる前に（購入時の状態）

セットアップを始める前に次の点について確認してください。

本機のハードウェア構成やハードディスクドライブにインストールされているソフトウェアの構成は、購入前のお客様によるオーダー(BTO)によって異なります。



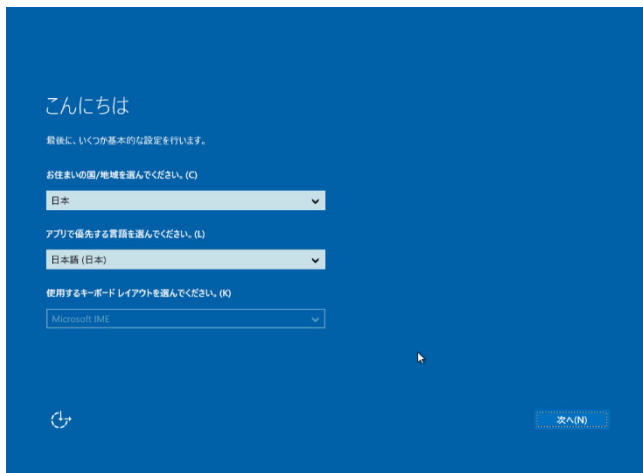


### 3.2.2 セットアップの手順

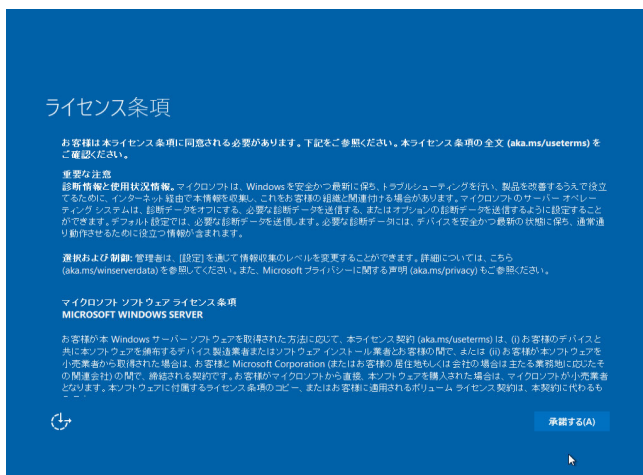


セットアップを完了するまでは、キーボード、マウス、ディスプレイ以外のデバイスを接続しないでください。

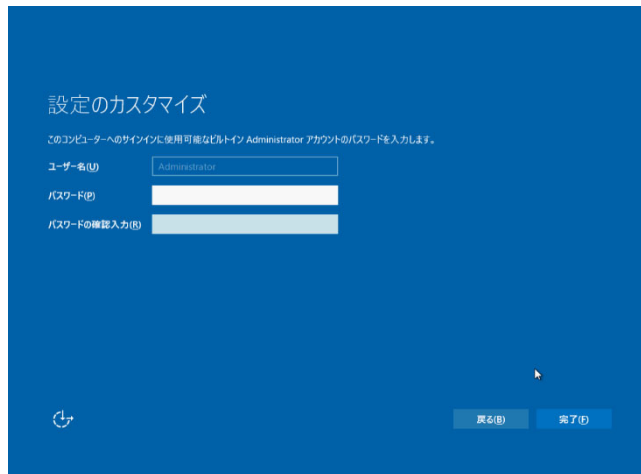
1. リムーバブルメディア、および光ディスクドライブにディスクがセットされていないことを確認します。
2. ディスプレイ、本機の順に電源をONにします。
3. [次へ]をクリックします。



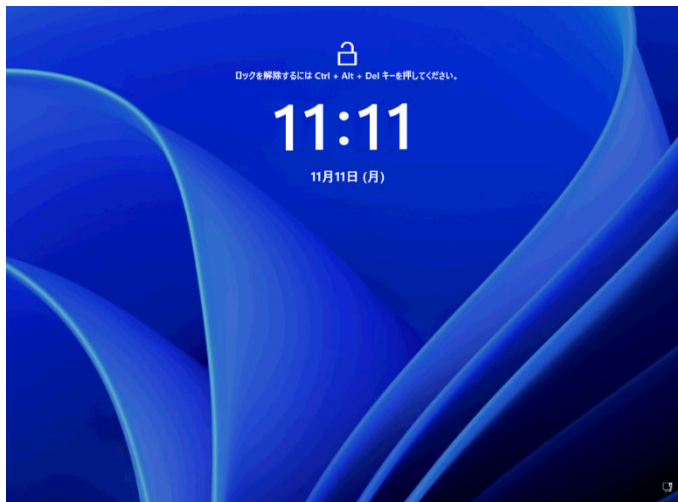
4. ライセンス条項の内容を確認し、[承諾する]をクリックします。



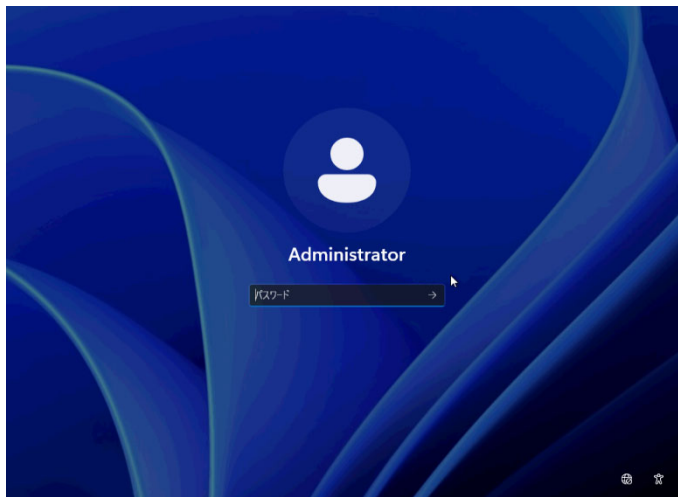
5. パスワードを入力し、[完了]をクリックします。



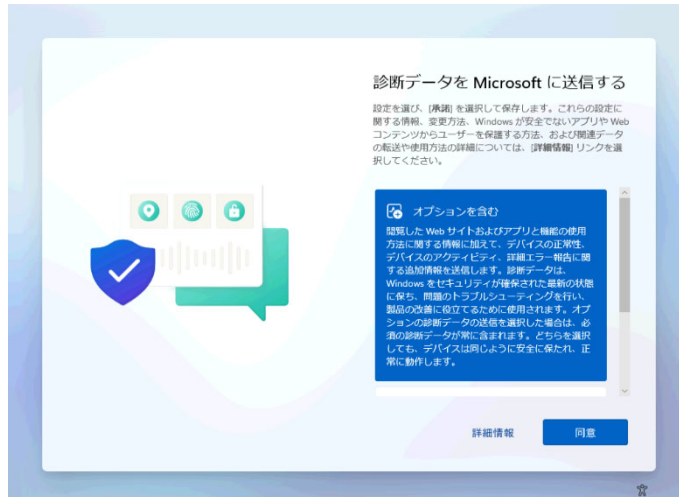
6. <Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを押し、ロック解除します。



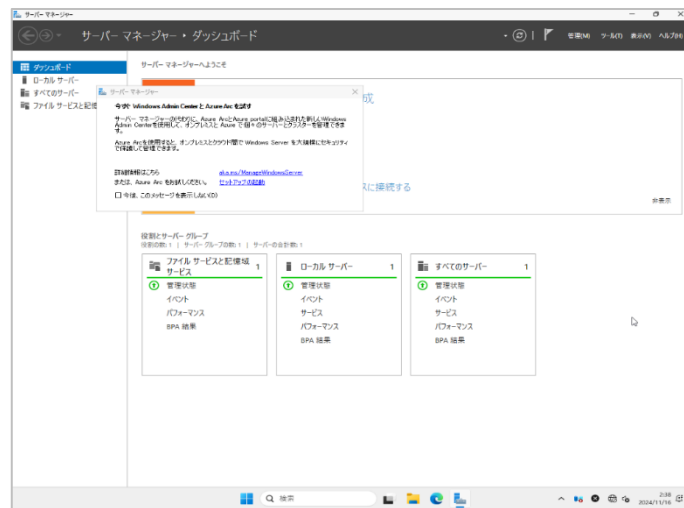
パスワードを入力し、<Enter>キーを押します。



内容を確認し、[同意]をクリックします。



Windows Server 2025 が起動します。



7. 「1章(4. デバイスドライバーのセットアップ)」を参照し、ドライバーの詳細設定を行います。
8. オプションに添付の説明書を参照し、ドライバーをインストールします。
9. 「1章(5. Windows Server 2025 NICチームing(LBFO)の設定)」を参照し、必要に応じてセットアップします。
10. 「1章(6. 障害処理のためのセットアップ)」を参照し、セットアップします。
11. バンドルソフトウェアの設定およびその確認をします。
  - 次のソフトウェアがプリインストールされています。
    - ESMPRO/ServerAgentService
    - エクスプレス通報サービス※
    - エクスプレス通報サービス(HTTPS) ※
    - ExpressUpdate Agent
    - 装置情報収集ユーティリティ
    - Ezclct Viewer
    - サーバ診断カルテサービス

- RAID コントローラーを使用する場合は、次のソフトウェアがプリインストールされています。
  - － Universal RAID Utility
  - － Microsoft .NET Framework Version 3.5.1

※ ご使用になる環境に合わせて設定または確認をしなければならないソフトウェアです。

各ソフトウェアの詳細については、次の Web サイトから確認できます。

**Express5800/T110m, T110m-S Windows Server 2025 サポート情報**

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140109880>

以上で、プリインストールモデルのセットアップは終了です。

## 4. デバイスドライバーのセットアップ

必要に応じて各種ドライバーのインストールとセットアップを行います。

ここで記載されていないドライバーのインストールやセットアップについては、ドライバーに添付の説明書を参照してください。

「Windows Server 2025 対応 差分モジュール(Starter Pack)」が必要な場合は、事前に次の Web サイトからダウンロードしてください。

<https://www.support.nec.co.jp/>

(「NEC サポートポータル内検索」より、「WS2025.10-001」で検索)

### 4.1 LAN ドライバーのインストール

#### 4.1.1 LAN ドライバーについて

「BTO(工場組込み出荷)」で「プリインストール」を指定した場合、LAN ドライバーはインストール済です。



Wake On LAN は標準ネットワークアダプターのみサポートです。

Wake On LAN を使用する場合は、「1 章(4.2 LAN ドライバーのセットアップ)」ー「4.2.3 Wake On LAN の設定」を参照してください。



- LAN ドライバーに関する操作は、装置に接続されたコンソールから管理者 (Administrator など) 権限でサインインした状態で実施してください。OS のリモートデスクトップ機能、または、その他の遠隔操作ツールを使用しての作業はサポートしていません。
- IP アドレスを設定する場合、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のチェックボックスが外れているとき、チェックを付けてから IP アドレスの設定をしてください。

#### 4.1.2 オプションの LAN ボード

対応しているオプションの LAN ボードは以下です。

**N8104-157A/202/203**

オプションの LAN ボードを追加した場合、OS のプラグアンドプレイ機能が動作して LAN ドライバーは自動的にインストールされます。

事前に N8104-157A が対象装置に搭載されていない場合、N8104-157A を増設しても LAN ドライバーは自動的にインストールされません。

該当する場合は、次の手順で N8104-157A に LAN ドライバーをインストールしてください。

## N8104-157A の LAN ドライバーインストール手順



「Windows Server 2025 対応差分モジュール(Starter Pack)」が必要になります。  
事前にダウンロードし、ハードディスク上の任意のフォルダーに展開してください。

1. [デバイスマネージャー]を起動します。
  2. [ネットワークアダプター]を展開し、Intel(R) Ethernet Controller X550 を右クリックし、  
[ドライバーの更新]を選択します。  
[ドライバーの更新 - Intel(R) Ethernet Controller X550] が表示されます。
  3. [コンピューターを参照してドライバーを検索]を選択します。
  4. [参照]をクリックします。  
[フォルダーの参照]が表示されます。
  5. 以下の「WS2025」フォルダーを指定し、[OK]をクリックします。  
<ドライブレター>:¥<展開先>¥winnt¥drivers¥02\_network¥1\_ag\_12¥intel¥r294¥  
**PROXGB¥Winx64¥WS2025**
  6. [ドライバーの更新 - Intel(R) Ethernet Controller X550]に戻り、[次へ]をクリックします。
  7. 「ドライバーが正常に更新されました」のメッセージが表示されたら、  
[閉じる]をクリックします。
  8. N8104-157A の全ポートに対して、手順 2 ～ 手順 7 を行います。
- 以上で完了です。

### 4.1.3 ネットワークアダプター名

LAN ドライバー適用後、デバイスマネージャーで表示されるネットワークアダプター名は以下です。

- 標準ネットワークアダプター

Intel(R) I210 Gigabit Network Connection #xx (※1)

- オプション LAN ボード

[N8104-157A] Intel(R) Ethernet Controller X550 #xx (※1)

[N8104-202] Intel(R) Ethernet Server Adapter I350-T2 #xx (※1)

[N8104-203] Intel(R) Ethernet Server Adapter I350-T4 #xx (※1)

※1 同一名のネットワークアダプターがある場合は、xxの箇所に識別の番号が割り振られます。

## 4.2 LAN ドライバーのセットアップ

### 4.2.1 リンク速度の設定

ネットワークアダプターの転送速度とデュプレックスモードは、接続先のスイッチングハブと同じ設定にする必要があります。以下の手順を参照し、転送速度とデュプレックスモードを設定してください。

1. [デバイスマネージャー]を起動します。
2. [ネットワークアダプター]を展開し、設定するネットワークアダプターをダブルクリックします。  
ネットワークアダプターのプロパティが表示されます。
3. [詳細設定]タブを選択し、[速度とデュプレックス]をスイッチングハブの設定値と同じ値に設定します。
4. [OK]をクリックします。
5. システムを再起動します。

以上で完了です。

### 4.2.2 フロー制御 (Flow Control) の設定

フロー制御(Flow Control)は、受信バッファが枯渇しそうになった際に、接続先にポーズフレームを送信し、フレーム送信の一時的な停止を指示する機能です。また、ポーズフレームを受信した場合は、送信規制を行います。以下の手順を参照し、フロー制御(Flow Control)を設定してください。



ネットワークアダプターと接続先のフロー制御 (Flow Control) の設定が一致するように合わせてください。たとえば、ネットワークアダプターと接続先のフロー制御 (Flow Control) の設定が一致するように合わせてください。

また、フロー制御 (Flow Control) の初期値に関しては無効に設定されている場合があります。そのため、接続先のフロー制御 (Flow Control) が有効の場合は、ネットワークアダプター側も有効に設定してください。

1. [デバイスマネージャー]を起動します。
2. [ネットワークアダプター]を展開し、設定するネットワークアダプターをダブルクリックします。  
ネットワークアダプターのプロパティが表示されます。
3. [詳細設定]タブを選択し、[Flow Control]または[フロー制御]をクリックして[値]を表示させます。
4. [値]の[▼]で設定を変更します。
5. [OK]をクリックします。
6. システムを再起動します。

以上で完了です。

### 4.2.3 Wake On LAN の設定

Wake On LAN を使用する場合は、手順に従って設定してください。

1. [デバイスマネージャー]を起動します。
2. [ネットワークアダプター]を展開し、設定するネットワークアダプターをダブルクリックしプロパティを表示します。
3. [詳細設定]タブを選択し、[PME をオンにする] の値を「オン」または「有効」に設定します。
4. [OK]をクリックし、再起動します。

以上で完了です。

## 4.3 グラフィックス アクセラレータ ドライバー

「BTO(工場組込み出荷)」で「プリインストール」を指定した場合、標準のグラフィックスアクセラレータ ドライバーは、インストール済みです。



有効なモード一覧に表示される各解像度のリフレッシュレートが、実際に設定される値とは異なります。(表示される値は 64 ヘルツだが、実際に設定される値は 60 ヘルツ)

ドライバーを個別にインストールするときは、次の手順に従ってください。

1. Starter Pack の以下のファイルを実行します。  
<ドライブレター>:\<展開先>\winnt\drivers\03\_graphics\1 aj\_20\install.bat
2. システムを再起動します。

以上で完了です。

なおドライバーをアンインストールするときは、次の手順に従ってください。

1. コントロールパネルから「プログラムのアンインストール」を起動します。
2. プログラム一覧から「Windows Driver Package - ASPEED(ASTGRP) Display...」を選択し、実行してください。
3. システムを再起動します。

以上で完了です。

## 4.4 オプションのグラフィックスアクセラレータカードを使用する場合

オプションのグラフィックスアクセラレータカードを搭載している場合は、カードに添付されているグラフィックスアクセラレータのユーザーズガイドに記載されている手順に従ってドライバーをインストールしてください。



---

## 4.5 SAS コントローラー(N8103-199)を使用する場合

---

「BTO(工場組込み出荷)」で「プリインストール」を指定し、SAS コントローラー(N8103-199)を搭載する場合は、ドライバーが自動的にインストールされます。

---

## 4.6 オンボードの RAID コントローラーを使用する場合

---

「BTO(工場組込み出荷)」で「プリインストール」を指定し、オンボードの RAID コントローラーを搭載する場合は、本製品向けにカスタマイズされたドライバーが自動的にインストールされます。

---

## 4.7 RAID コントローラー(N8103-225/232/233/234/235)を使用する場合

---

「BTO(工場組込み出荷)」で「プリインストール」を指定し、RAID コントローラー(N8103-225/232/233/234/235)を搭載する場合は、本製品向けにカスタマイズされたドライバーが自動的にインストールされます。

## 5. Windows Server 2025 NIC チーミング(LBFO)の設定

ネットワークアダプターのチーミングの設定は、次のとおりです。

### 5.1 NIC チーミング設定ツールの起動

1. [サーバーマネージャー] を起動します。
2. [ローカルサーバー] を選択します。
3. プロパティから「NIC チーミング」の「有効」または「無効」をクリックします。  
NIC チーミング設定ツールが起動します。



[ファイル名を指定して実行] から「lbfoadmin /server .」を入力し<Enter>キーを押すことにより、設定ツールを起動することもできます。

### 5.2 チームの作成

起動した NIC チーミング設定ツールからチームを作成します。

1. 「サーバー」セクションから設定するサーバー名を選択します。  
1 台しかない場合は、自動的に選択されています。
2. 「チーム」セクションの「タスク」から[チームの新規作成]を選択し、チームの新規作成ウィンドウを起動します。
3. 「チーム名」に作成するチーム名を入力し、「メンバーアダプター」からチームに組み込むネットワークアダプターを選択します。
4. 「追加のプロパティ」をクリックします。
5. それぞれの内容について指定し、[OK] をクリックします。

#### ■ チーミングモード

静的チーミング	NIC とスイッチ間で、スタティックリンクアグリゲーションを構成します。
スイッチに依存しない	スイッチの設定に依存せずに、NIC 側でチーミングを構成します。
LACP	NIC とスイッチ間で、ダイナミックリンクアグリゲーションを構成します。

#### ■ 負荷分散モード

アドレスのハッシュ	IP アドレス、ポート番号を利用して負荷分散させます。
Hyper-V ポート	仮想マシンが使用する仮想スイッチのポートごとに負荷分散させます。
動的	<ul style="list-style-type: none"><li>• 送信は、IP アドレス、ポート番号を利用して動的に負荷分散させます。</li><li>• 受信は、「Hyper-V ポート」と同様の方法で負荷分散させます。</li></ul>

### ■ スタンバイアダプター

チーム内のアダプターからスタンバイにするアダプターを 1 つ選択します。  
すべてアクティブにすることも可能です。

### ■ プライマリチームインターフェース

プライマリのチームインターフェースに、任意の VLAN ID を設定することができます。

## 5.3 チームの削除

起動した NIC チーミング設定ツールからチームを削除します。

1. 「サーバー」セクションから設定するサーバーを選択します。  
1 台しかない場合は、自動的に選択されています。
2. 「チーム」セクションから、削除するチームを選択します。
3. 「チーム」セクションの「タスク」ボックスから「削除」を選択します。
4. 確認ウィンドウが表示されますので、「チームの削除」をクリックします。

## 5.4 注意・制限事項

- ゲスト OS 上での NIC チーミングは、本機の出荷時点ではサポートしておりません。
- Hyper-V 環境において、ホスト OS 上の仮想 NIC を使用したチーミングはサポートしておりません。
- チーミングを構成する各ネットワークアダプターと接続しているネットワークスイッチのポートで STP（スパニングツリー）が有効になっている場合、ネットワーク通信が阻害される可能性があります。該当ポートの STP を無効にするか、PortFast や EdgePort 等の設定を実施してください（接続先のネットワークスイッチの設定方法については、ネットワークスイッチのマニュアルを確認してください）。
- チーム内のすべての NIC は、ネットワークスイッチを介して同一サブネットに接続する必要があります。
- 異なる速度の NIC のチーミングはサポートしておりません。
- 異なるベンダーの NIC のチーミングはサポートしておりません。
- ネットワーク負荷分散（NLB）環境でチーミングを使用する場合は、NLB のクラスタ操作モードはマルチキャストモードを使用してください。
- チームを削除した際に以下のイベントログが出力されることがありますが、運用上、問題ありません。

レベル	エラー
ソース	Microsoft-Windows-NDIS
イベント ID	10317
タスクのカテゴリ	PnP
メッセージ	ミニポート Microsoft Network Adapter Multiplexor Driver、{XXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXX}、イベント Network Interface deleted while PNP Device still exists. Note that this event is provided for informational purpose and might not be an error always (Eg: In case of vSwitch which was recently un-installed or a LBFO team was removed) がありました

- Windows Server Failover Cluster 環境において、Active-Standby でチーミングを構成した場合、ハートビートの不通やフェールオーバーが発生する可能性があります。本事象を回避するために、チーム内にアクティブモードの NIC を複数構成して、アクティブモードの NIC が同時にすべて失われないようにチーミングを構成してください。
- Hyper-V 環境において、チーミングアダプターを仮想スイッチにバインドする構成は非推奨です。チーミングと仮想スイッチを組み合わせて使用する場合は、SET(Switch Embedded Teaming)を使用してください。
- NIC チーミングを使用する環境のホスト名は 15 文字以内にしてください。ホスト名が 16 文字以上の場合、NIC チーミングが正しく動作しません。
- チーミングアダプターで iSCSI 機能を利用することはできません。
- チーミングを構成可能な NIC の組み合わせとチームの最大ポート数については、各サーバモデルのシステム構成ガイドを参照してください。

最新情報は、

[Windows Server 2025 サポート情報] (<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140109853>) の技術情報をご確認ください。

## 6. 障害処理のためのセットアップ

問題が起きたとき、より早く、確実に修復できるように、あらかじめ次のようなセットアップをしてください。

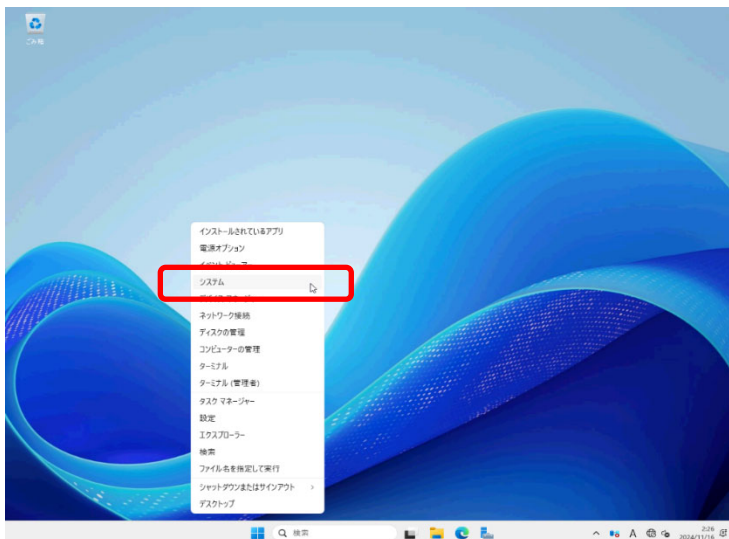
### 6.1 メモリダンプ（デバッグ情報）の設定

メモリダンプ（デバッグ情報）を採取するための設定です。

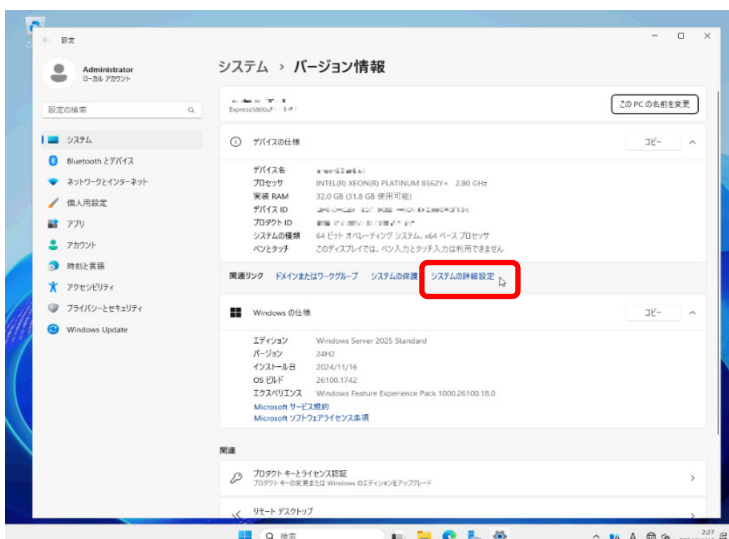


- メモリダンプの採取は保守サービス会社の保守員が行います。お客様はメモリダンプの設定のみを行ってください。
- メモリダンプを保存するために再起動すると、起動時に、仮想メモリが不足していることを示すメッセージが表示されることがあります。この場合、そのまま起動してください。リセットや再起動すると、メモリダンプを正しく保存できない場合があります。

1. タスクバーの中央または左端の「スタート」を右クリックして、「システム」を選択します。



2. バージョン情報が表示されたら「システムの詳細設定」をクリックします。

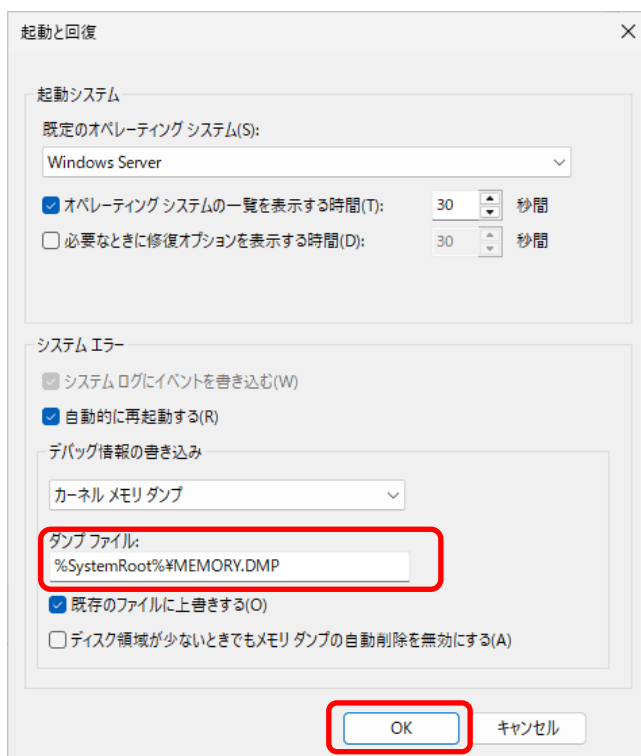


3. [起動と回復] の [設定] をクリックします。



4. [ダンプファイル] にダンプファイルのパスを入力し、[OK] をクリックします。

< 例) D ドライブに「MEMORY.DMP」というファイル名で書き込む場合 >



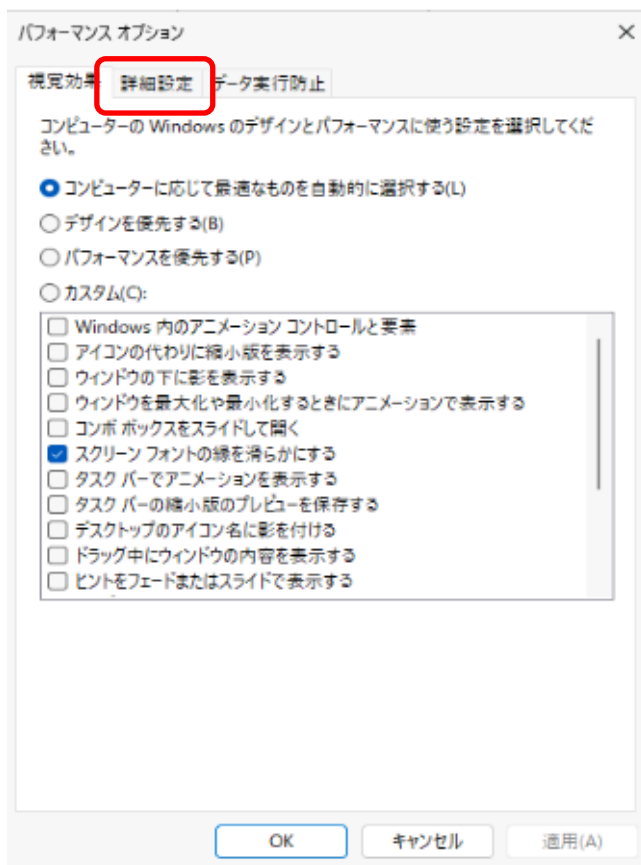
ダンプファイルは、以下に注意して設定してください。

- 「デバッグ情報の書き込み」は、[カーネルメモリダンプ] を指定することを推奨します。
- 搭載メモリサイズ+400MB (搭載メモリサイズが 4TB を超える場合は、搭載メモリサイズ+ 257(MB) +(搭載メモリサイズ(TB)× 1024) / 32) 以上の空き容量のあるドライブを指定してください。
- メモリを増設すると、採取されるデバッグ情報 (メモリダンプ) のサイズが変わります。増設時は、ダンプファイルの書き込み先の空き容量も確認してください。

5. [パフォーマンス] の [設定] をクリックします。



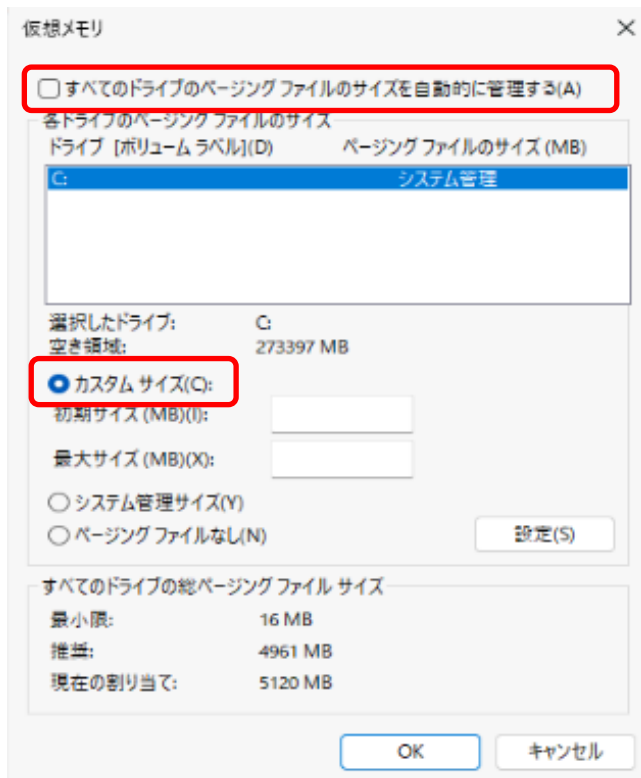
6. [詳細設定] タブをクリックします。



7. [仮想メモリ] の[変更] をクリックします。

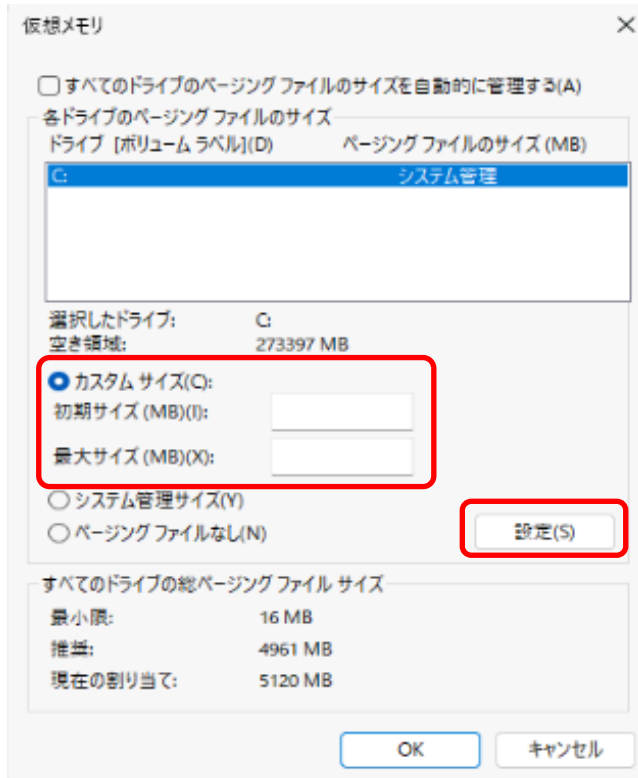


8. [すべてのドライブのページングファイルのサイズを自動的に管理する] のチェックを外し、[カスタム サイズ] を選択します。





9. [各ドライブのページングファイルのサイズ] の [初期サイズ] を推奨値以上に、[最大サイズ] を初期サイズ以上に変更し、[設定] をクリックします。



ページングファイルは、以下に注意してください。

- ページングファイルは、デバッグ情報（ダンプファイル）採取のために利用されています。ブートボリュームには、ダンプファイルを格納するのに十分な大きさの初期サイズ（搭載メモリサイズ + 400MB（搭載メモリサイズが4TBを超える場合は、搭載メモリサイズ + 257(MB) + (搭載メモリサイズ(TB) × 1024) / 32）以上）を持つページングファイルが必要です。  
また、ページングファイルが不足すると仮想メモリ不足により正確なデバッグ情報を採取できない場合があるため、システム全体で十分なページングファイルサイズを設定してください。
- 「推奨値」については、「1章（2.1 インストール前の確認事項）」の「システムパーティションのサイズ」を参照してください。
- メモリを増設したときは、メモリサイズに合わせてページングファイルを再設定してください。
- 2TBを超えるドライブへのページングファイル設定でエラーとなった場合は、[仮想メモリ] 画面、[パフォーマンスオプション] 画面を閉じた後、以下の方法で設定してください。

例) C ドライブに初期サイズ 4096MB、最大サイズ 8192MB のページングファイルを作成する場合。サイズを変更する場合は手順③の値を変更してください。

- ① 管理者として PowerShell を起動して以下のコマンドを実行します。  

```
$cimInstance = Get-CimInstance -ClassName Win32_ComputerSystem
$cimInstance.AutomaticManagedPagefile = $false
$cimInstance | Set-CimInstance
(Get-WmiObject -Class Win32_PageFileSetting).Delete()
```
- ② Windows を再起動します。

- ③ 管理者として PowerShell を起動して以下のコマンドを実行します。  
(紙幅の都合上、折り返されていますが 1 行のコマンドです。)

```
reg add  
"HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Session  
Manager\Memory Management" /v PagingFiles /t REG_MULTI_SZ /d  
"c:\pagefile.sys 4096 8192" /f
```

- ④ Windows を再起動します。

10. [OK] をクリックします

変更内容によっては Windows を再起動するようメッセージが表示されます。

メッセージに従って再起動してください。


以上で完了です。

## 6.2 ユーザーモードのプロセスダンプの取得方法

ユーザーモードプロセスダンプは、アプリケーションエラー発生時の情報を記録したファイルです。

アプリケーションエラーが発生したときは、エラーのポップアップを終了させずに、以下の方法でユーザーモードプロセスダンプを取得してください。

1. タスクバーの中央または左端の [スタート 

2. [プロセス 

名前	状態	0%	9%	0%	0%
		CPU	メモリ	ディスク	ネットワーク
アプリ (2)					
> Server Manager		0%	78.6 MB	0 MB/秒	0 Mbps
> タスク マネージャー		0.2%	39.9 MB	0 MB/秒	0 Mbps

3. ダンプを取得するプロセス名を右クリックして、[ダンプファイルの作成] をクリックします。
4. 次のフォルダーにダンプファイルが作成されます。

**C:\Users¥(ユーザー名)\AppData\Local\Temp**



フォルダーが表示されないときは、エクスプローラーの[表示]から[隠しファイル]をチェックしてください。



手順 4 に記載のフォルダーより、ユーザーモードのプロセスダンプを取得してください。

## 7. プリインストールモデルの再セットアップ

Windows Server 2025 を再セットアップする場合は、次の Web サイトから確認してください。

Express5800/T110m, T110m-S Windows Server 2025 サポート情報

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140109880>

ダウンロードページから「Windows Server 2025 対応 差分モジュール」をダウンロードし、「Windows Server 2025 インストール補足説明書」を参照のうえ、Windows Server 2025 のインストール（新規インストール）を行ってください。



必ず、ご購入された装置に対応した、Windows Server 2025 向けの Starter Pack をご使用ください。

## 8. 未インストールモデルのセットアップ

Windows Server 2025 をセットアップする場合は、次の Web サイトから確認してください。

Express5800/T110m, T110m-S Windows Server 2025 サポート情報

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140109880>

ダウンロードページから「Windows Server 2025 対応 差分モジュール」をダウンロードし、「Windows Server 2025 インストール補足説明書」を参照のうえ、Windows Server 2025 のインストール（新規インストール）を行ってください。



必ず、ご購入された装置に対応した、Windows Server 2025 向けの Starter Pack をご使用ください。

本機の運用などにおいて、点検、保守、またはトラブルが起きたときの対処について説明します。

### 1. 障害情報の採取

本機が故障したとき、故障の箇所、原因について、情報を採取する方法を説明しています。故障が起きたときに参照してください。

### 2. トラブルシューティング

故障かな？と思ったときに参照してください。トラブルの原因とその対処について説明しています。

### 3. Windows システムの修復

Windows を修復させるための手順について説明しています。Windows が破損したときに参照してください。

---

# 1. トラブルシューティング

---

本機が正常に動作しないときは、修理を出す前にお手持ちのドキュメントを参照し、本機をチェックしてください。リストに該当する項目があるときは、記載の対処方法を試してください。

ここで記載していないときは、メンテナンスガイドを合わせて確認してください。

---

## 1.1 内蔵デバイス、その他ハードウェア使用時のトラブル

---

### **[?]** LAN コントローラーのフロー制御について

→ フロー制御 (Flow Control) を「Auto Negotiation」、「Rx & Tx Enabled」、「Tx Enabled」または「送信 有効」、「送信/受信 有効」に設定している場合、受信負荷が高い状態においてシステムハングなどの要因でOSのパケット処理が停止すると PauseFrame が継続して送信されることがあります。このときスイッチ側には大量のパケットが滞留するためスイッチ内のバッファが不足し、スイッチに接続されたすべての通信機器に影響が出ることがあります。このようなケースを回避するためには、フロー制御を「Disabled」または「無効」に設定してください。

## 2. Windows システムの修復

Windows を動作させるために必要なファイルが破損したときは、次の手順に従って Windows システムを修復してください。



- 修復後、「Windows Server 2025 インストール補足説明書」の「デバイスドライバのセットアップ」および、「差分モジュール(Starter Pack) の適用」を参照し、各種ドライバおよび Starter Pack を適用してください。
- ハードディスクドライブが認識できないときは、Windows システムの修復はできません。

### 2.1 Windows Server 2025 の修復

何らかの原因で Windows が起動できなくなったときは、インストールメディアの機能を使って修復できます。OS インストールメディアから起動し、Windows のセットアップウィザードの「コンピューターを修復する」を選択してください。この方法は、詳しい知識のあるユーザーや管理者のもとで実施してください。

1. ディスプレイ、本機の順に電源を ON するか、再起動します。  
OS インストールメディアをセットします。
2. OS インストールメディアから起動します。  
画面上部に「Press any key to boot from CD or DVD...」が表示されます。  
メディアからブートさせるため、<Enter>キーを押してください。  
ブートが進むと、「Loading files...」のメッセージが現れます。
3. [言語設定を選択]で、[次へ]をクリックします。
4. [キーボードを選択]で、[次へ]をクリックします。
5. [セットアップオプション選択]で、画面右下の[セットアップの以前のバージョン]をクリックします。
6. [Windows Server のセットアップ]で、[次へ]をクリックしたら、画面右下の[コンピューターを修復する]をクリックします。

## NEC Express5800 シリーズ

---

# 3

## 付 録

### 1. Windows イベントログ一覧

Windows イベントログの一覧です。



## 1. Windows イベントログ一覧

ID	ソース	種類	メッセージ (説明)
	イベントログが登録されるタイミング		対応

### Windows OS 共通 【 システムログ 】

1	VDS Basic Provider	エラー	予期しないエラーが発生しました。エラーコード:32@01000004
	USB デバイスを使用する時		システム動作上、問題ありません。
51	Cdrom	警告	ページング操作中にデバイス¥Device¥CdRom0 上でエラーが検出されました。
	OS インストール時		イベントビューアーに本イベントが登録される場合がありますが、システムに問題ありません。
56	Application Popup	エラー	"ソース ""Application Popup"" からのイベント ID 56 の説明が見つかりません。このイベントを発生させるコンポーネントがローカル コンピューターにインストールされていないか、インストールが壊れています。ローカル コンピューターにコンポーネントをインストールするか、コンポーネントを修復してください。 イベントが別のコンピューターから発生している場合、イベントとともに表示情報を保存する必要があります。 イベントには次の情報が含まれています: PCI XXXXXX メッセージ リソースは存在しますが、メッセージが文字列テーブル/メッセージ テーブルに見つかりません。
	OS インストール時、システム起動時、Starter Pack 適用時		LAN コントローラーが複数枚接続されている環境で本イベントが登録される場合がありますが、システム動作上、問題ありません。
129	iastorE	警告	デバイス ¥Device¥RaidPort0 にリセットが発行されました。
	システム運用中		オンボードの RAID コントローラーで、SATA 光ディスクドライブ接続時、本メッセージが登録される場合がありますが、OS でリトライに成功しているため問題はありません。そのままご使用ください。
129	Megasas35	警告	デバイス ¥Device¥RaidPort(x) にリセットが発行されました。 (x には数字が入ります)
	システム運用中		本メッセージがログに登録されても、OS でリトライに成功しているため問題はありません。そのままご使用ください。
157	Disk	警告	ディスク x が突然取り外されました。
	RAID 作成時		Windows 上で RAID を新規作成した場合、本イベントが登録される場合がありますが、システム動作上、問題ありません。

ID	ソース	種類	メッセージ (説明)
	イベントログが登録されるタイミング		対応

**Windows OS 共通 【 システムログ 】**

44801	megasas35	警告	"ソース""megasas35""からのイベント ID 44801 の説明が見つかりません。このイベントを発生させるコンポーネントがローカル コンピューターにインストールされていないか、インストールが壊れています。 ローカル コンピューターにコンポーネントをインストールするか、コンポーネントを修復してください。 イベントが別のコンピューターから発生している場合、イベントと共に表示情報を保存する必要があります。 イベントには次の情報が含まれています: ¥Device¥RaidPort(x) VD yyy/z is now DEGRADED 指定されたリソースの種類がイメージ ファイルが見つかりません。
	RAID が縮退した場合		本イベントは RAID が縮退した場合に登録されます。メッセージが正しく表示されませんが、システム運用上の問題はありません。

ID	ソース	種類	メッセージ (説明)
	イベントログが登録されるタイミング		対応

## Windows Server 2025 【 システムログ 】

24	e1repress	エラー	<p>xxxxx #xx</p> <p>問題：ネットワーク・アダプターを開始できません。</p> <p>対処：<a href="http://www.intel.co.jp/content/www/jp/ja/support/network-and-i-o/ethernet-products/000005617.html">http://www.intel.co.jp/content/www/jp/ja/support/network-and-i-o/ethernet-products/000005617.html</a> から最新のドライバーをダウンロードしてインストールしてください。</p> <p>※ x は LAN ボードにより表示名が異なります。</p>
	システム起動時		<p>本イベントが登録された場合、通信障害が発生する可能性があります。以下のいずれかの対処を行い、本イベントが解決する事を確認してください。対処後も本イベントが登録される場合は、保守サービス会社にお問い合わせください。</p> <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ システムを再起動してください。</li> <li>・ 次の手順を参考にネットワークアダプターの無効と有効を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [デバイスマネージャー]を起動します。</li> <li>2. [ネットワークアダプター]を展開し、メッセージで表示されたネットワークアダプターを右クリックして、[デバイスを無効にする]を選択します。無効化の確認画面が表示された場合は、[はい]を選択します。</li> <li>3. 再度、該当のネットワークアダプターを右クリックして、[デバイスを有効にする]を選択します。</li> </ol> </li> </ul> <p>該当のネットワークアダプターと同一名のネットワークアダプターも手順 2 ～ 3 を実行します。</p>
27	e1i68x64	警告	<p>xxxxx #xx</p> <p>Network link is disconnected.</p> <p>※ x は LAN ボードにより表示名が異なります。</p>
	OS インストール時、システム起動時、Starter Pack 適用時		システム動作上、問題ありません。
27	e1repress	警告	<p>xxxxx #x</p> <p>ネットワーク・リンクが切断されました。</p> <p>※ x は LAN ボードにより表示名が異なります。</p>
	OS インストール時、システム起動時、Starter Pack 適用時		システム動作上、問題ありません。
27	ixgbs	警告	<p>xxxxx #xx</p> <p>ネットワーク・リンクが切断されました。</p> <p>※ x は LAN ボードにより表示名が異なります。</p>
	OS インストール時、システム起動時、Starter Pack 適用時		システム動作上、問題ありません。
27	ixi68x64	警告	<p>xxxxx #xx</p> <p>Network link is disconnected.</p> <p>※ x は LAN ボードにより表示名が異なります。</p>
	OS インストール時、システム起動時、Starter Pack 適用時		システム動作上、問題ありません。

ID	ソース	種類	メッセージ (説明)
	イベントログが登録されるタイミング		対応

## Windows Server 2025 【 システムログ 】

134	Microsoft-Windows-Time-Service	警告	使用可能なタイム スタンプがタイム サービス プロバイダーによって提供されなかったため、タイム サービスは 7800 秒間、システム時刻を同期していません。タイム サービスは、タイム ソースと同期できるようになるまで、ローカルのシステム時刻を更新しません。ローカル システムがクライアントの時刻サーバーとして機能するように構成されている場合は、タイム ソースとしてクライアントにアダプタイズすることを 78599 秒後に停止します。タイム サービスは継続してタイム ソースとの同期を試みます。詳細については、他の W32time イベントのシステム イベント ログを確認してください。'w32tm /resync' を実行すると、時刻の同期を即座に強制実施できます。タイム ソースの再検出の頻度は、ClockHoldoverPeriod W32time 構成設定を使用して制御できます。このメッセージを無効にする場合は、EventLogFlags W32time 構成設定を変更してください。
	システム運用中		システム運用上、問題ありません。
134	Microsoft-Windows-Time-Service	警告	time.windows.com,0x8' での DNS 解決エラーのため、NtpClient でタイム ソースとして使う手動ピアを設定できませんでした。15 分後に再試行し、それ以降は 2 倍の間隔で再試行します。エラー: そのようなホストは不明です。 (0x80072AF9)
	システム運用中		インターネット接続後に登録されていない場合は、システム運用上、問題ありません。
157	Disk	警告	ディスク x が突然取り外されました。
	RAID 作成時		Windows 上で RAID を新規作成した場合、本イベントが登録される場合がありますが、システム動作上、問題ありません。
225	Kernel-PnP	警告	プロセス ID XXX のアプリケーション YYY はデバイス ZZZ コマンドライン: YYY 影響を受けるデバイスの一覧: STORAGE¥Volume¥<GUID> の削除を停止しました  *ZZZ は対象のデバイス インスタンス 名 YYY はデバイスを使用していたプロセス名 XXX はデバイスを使用していたプロセス ID が入ります。
	Starter Pack 適用中		システム運用上、問題ありません。

ID	ソース	種類	メッセージ (説明)
	イベントログが登録されるタイミング		対応

## Windows Server 2025 【 システムログ 】

280	Microsoft-Windows-Hyper-V-VmSwitch	警告	VMS 使用率プランの Vport QueuePairs が、要求された数 (xx) から実際の数 (xx) に調整されました。 理由: 要求された数、物理 NIC でサポートされている VPort あたりの QP の最大数を超過しています。 NIC 名: /DEVICE/{xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx} (フレンドリ名:xxxxx #xx)。 ※ x は LAN ボードにより異なります。
	Switch Embedded Teaming (SET) 機能を使用した仮想スイッチを作成したとき、Switch Embedded Teaming (SET) 機能を使用した仮想スイッチを仮想マシンに指定した状態で仮想マシン、Hyper-V ホストを再起動したとき		システム動作上、問題ありません。
1042	Microsoft-Windows-LanguagePackSetup	エラー	Removing language pack,言語 ja-JP は、システムによってインストールされた UI 言語であるためアンインストールできません。
	OS インストール時		OS インストール時に一度だけ発生する場合は、システムへの影響はありません。
1796	Microsoft-Windows-TPM-WMI	エラー	セキュア ブートの更新でセキュア ブート変数を更新できませんでした。 <エラーコード> です。詳細については、 <a href="https://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=2169931">https://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=2169931</a> を参照してください
	OS 再起動時など		システム運用上、問題ありません。 詳細は、 <a href="https://jpwinsup.github.io/blog/2024/11/13/UEFI/Secure%20Boot/AboutTPM-WMI1796/">https://jpwinsup.github.io/blog/2024/11/13/UEFI/Secure%20Boot/AboutTPM-WMI1796/</a> や、 <a href="https://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=2169931">https://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=2169931</a> を参照してください。
4162	iastorE	エラー	I/O issued to empty Optical Disk Drive (media not present) XXXXXXXX. (XXXXXXXX にはシリアル番号やドライブ名などのデバイス情報が入ります)
	光ディスクの取り出し時、光ディスクの取り出し後の再起動時		システム動作上、問題ありません。
4163	iastorE	エラー	I/O on XXXXXXXX has failed. (XXXXXXXX にはシリアル番号やドライブ名などのデバイス情報が入ります)
	CD-R または CD-RW のブランクメディアへのアクセス時、CD-RW 媒体の消去時		システム動作上、問題ありません。
4163	iastorE	エラー	I/O on XXXXXXXX has failed. (XXXXXXXX にはシリアル番号やドライブ名などのデバイス情報が入ります)
	Arcserve Backup Tape Engine サービスが起動時(OS 起動時含む)		システム動作上、問題ありません。

ID	ソース	種類	メッセージ (説明)
	イベントログが登録されるタイミング		対応

### Windows Server 2025 【 システムログ 】

7023	Service Control Manager	エラー	xxxxxxx サービスは、次のエラーで終了しました:デバイスの準備ができていません。
	OS 初回起動時		継続して同じイベントログが登録されていなければ、問題ありません。
7024	Service Control Manager	エラー	Distributed Transaction Coordinator サービスは、次のサービス固有エラーで終了しました: %%3221229627
	OS インストール時		OS インストール時に一度だけ発生する場合は、システムへの影響はありません。
7030	Service Control Manager	エラー	Printer Extensions and Notifications サービスは、対話型サービスとしてマークされています。しかし、システムは対話型サービスを許可しないように構成されています。このサービスは正常に機能しない可能性があります。
	OS 初回起動時		継続して同じイベントログが登録されていなければ、問題ありません。
10010	Microsoft-Windows-DistributedCOM	エラー	サーバー{XXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXX}は、必要なタイムアウト期間内に DCOM に登録しませんでした。
	システム運用中		システム運用上、問題はありません。
10016	Microsoft-Windows-DistributedCOM	警告	アプリケーション固有のアクセス許可の設定では、CLSID{*****} および APPID {*****} の COM サーバーアプリケーションに対するローカルアクティブ化のアクセス許可を、アプリケーションコンテナ利用不可 SID (利用不可)で実行中のアドレス LocalHost (LRPC 使用) のユーザー ***** SID (***** ) に与えることはできません。このセキュリティアクセス許可は、コンポーネントサービス管理ツールを使って変更できます。
	OS 初回起動時、システム起動時、システム運用中		システム運用上、問題はありません。
10149	Microsoft-Windows-WinRM	警告	WinRM サービスは、WS-Management 要求をリスンしていません。 ユーザー操作 意図的にサービスを停止していない場合、次のコマンドを使用して WinRM 構成を確認してください。 winrm enumerate winrm/config/listener
	OS 再起動時		WinRM イベント 10148 (WinRM サービスは、WS-Management 要求をリスンしています。) が直後に出力された場合は、無視しても問題ありません。

ID	ソース	種類	メッセージ (説明)
	イベントログが登録されるタイミング		対応

### Windows Server 2025 【 システムログ 】

10400	Microsoft-Windows-NDIS	警告	<p>ネットワーク インターフェイス "Intel(R) Ethernet Controller X550" はリセットを開始しました。ハードウェア リセットの間にネットワーク接続が一時的に中断します。</p> <p>理由 : The network driver detected that its hardware has stopped responding to commands. このネットワーク インターフェイスは、最後に初期化されてから xx 回リセットされました。</p>
	N8104-157A にて、LAN ケーブルおよびスイッチングハブが接続されている状態でのシステム起動時または設定変更時		<p>システム動作上、問題ありません。</p> <p>本イベントを回避したい場合は、以下の手順で N8104-157A の NDIS QoS を無効に設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [デバイスマネージャー]を起動します。</li> <li>2. [ネットワークアダプター]を展開し、メッセージで表示されたネットワークアダプターをダブルクリックしプロパティを表示します。</li> <li>3. [詳細設定]タブを選択し、[NDIS QoS]を「無効」に変更します。</li> <li>4. [OK]をクリックし、システムを再起動します。</li> </ol> <p>NDIS QoS を無効に設定した後も本イベントが登録される場合は、保守サービス会社にお問い合わせください。</p>
10400	Microsoft-Windows-NDIS	警告	<p>ネットワーク インターフェイス "xxxxx" はリセットを開始しました。ハードウェア リセットの間にネットワーク接続が一時的に中断します。</p> <p>理由 : The network driver detected that its hardware has stopped responding to commands. このネットワーク インターフェイスは、最後に初期化されてから xx 回リセットされました。</p> <p>※ x は LAN ボードにより表示名が異なります。</p>
	通信中にネットワークの切断が発生した場合		<p>通信中にネットワークが切断されたことが原因で本イベントが登録されます。e1rexpress または ixp イベント ID 27 のイベントも登録されます。</p> <p>また、ネットワークが復旧した場合、通信は正常に回復します。</p> <p>ネットワークの切断について調査が必要な場合は、保守サービス会社にお問い合わせください。</p>

ID	ソース	種類	メッセージ (説明)
	イベントログが登録されるタイミング		対応

### Windows Server 2025 【アプリケーションログ】

23	Microsoft-Windows-AppModel-State	警告	パッケージ <パッケージ名> に対する操作 InitializeDataChangedSignaler でエラー -2147024894 が発生したため、状態の場所の修復がトリガーされました。
	OS 初回起動時		ID 24 に記録された同名パッケージのエラーコードが 0 で終了している場合、無視して問題ありません。
24	Microsoft-Windows-AppModel-State	警告	パッケージ <パッケージ名> に対する操作 InitializeDataChangedSignaler の状態の場所の修復でエラー -2147024894 が発生しました。 エラー コード: 0
	OS 初回起動時		記録されたイベントログ末尾のエラーコードが 0 で終了している場合、無視して問題ありません。
86	Microsoft-Windows-CertificateServicesClient-CertEnroll	エラー	https://IFX-KeyId-5d0815951f5f60638a69e7252f3ec4becd7554b2.microsoftaik.azure.net/templates/Aik/scep を経由した WORKGROUP¥<コンピューター名>\$ の SCEP 証明書登録の初期化が失敗しました。 GetCACaps 方法: GET(921ms) ステージ: GetCACaps サーバー名またはアドレスは解決されませんでした 0x80072ee7 (WinHttp: 12007 ERROR_WINHTTP_NAME_NOT_RESOLVED)
	システム起動時		システム運用上、問題はありません。 TPM を搭載した環境下で、インターネットに接続していない場合に登録されることがあります。
1015	Microsoft-Windows-Security-SPP	エラー	HRESULT の詳細情報。返された hr=0xC004F022、元の hr=0x*****
	OS 再起動時		ライセンス認証完了後、継続して登録されていなければ問題ありません。
3007	EvntAgnt	警告	イベント ログ ファイル Parameters を開くときにエラーが発生しました。ログは処理されません。 OpenEventLog からのリターン コードは 87 です。
	SNMP を有効にしたとき		再起動ごとに登録されますが、無視して問題ありません。
3007	EvntAgnt	警告	イベント ログ ファイル State を開くときにエラーが発生しました。ログは処理されません。 OpenEventLog からのリターン コードは 87 です。
	SNMP を有効にしたとき		再起動ごとに登録されますが、無視して問題ありません。



ID	ソース	種類	メッセージ (説明)
	イベントログが登録されるタイミング		対応

**Windows Server 2025 【アプリケーションログ】**

8198	Microsoft-Windows-Security-SPP	エラー	ライセンス認証 (slui.exe) が失敗しました。エラーコード: hr=0x***** コマンドライン引数: RuleId=*****
	OS 再起動時		ライセンス認証完了後、継続して登録されていなければ問題ありません。
16398	Microsoft-Windows-Security-SPP	エラー	No grace timer found. で猶予期間の 0x80070490 中にエラーが発生しました
	ライセンス認証時、OS 再起動時など		ライセンス認証済みの場合、無視しても問題ありません。

ID	ソース	種類	メッセージ (説明)
	イベントログが登録されるタイミング		対応

### Windows Server 2025 【アプリケーションとサービスログ】

21	Microsoft-Windows-AppModel-Runtime	エラー	AppContainer oncore¥ds¥security¥gina¥profile¥profext¥appcontainer.cpp Line:1862 Usermode Font Driver Host microsoft.windows.fontdrvhost に対する CreateAppContainerProfile がエラー 0x8007000A で失敗しました。
	OS インストール時、システム起動時		継続して登録されなければ問題ありません。
33	Microsoft-Windows-AppModel-Runtime	エラー	AppContainer 名を検索できなかったため、AppContainer プロファイルがエラー 0x80670015 で失敗しました。
	OS 初回起動時、OS インストール時、OS 再起動時		無視して問題ありません。
66	Microsoft-Windows-AppModel-Runtime	エラー	ユーザー ***** のパッケージ Windows の AppModel-Runtime 状態を取得しているときに 0x57 で失敗しました。
	OS インストール中		OS インストール時に一度だけ発生する場合は、システムへの影響はありません。
200	Microsoft-Windows-DeviceSetupManager	警告	Windows Update サービスへの接続を確立できませんでした。
	システム運用中		インターネット接続後に登録されていない場合は、システム運用上、問題ありません。
201	Microsoft-Windows-DeviceSetupManager	警告	Windows Metadata and Internet Services (WMIS) への接続を確立できませんでした。
	システム運用中		インターネット接続後に登録されていない場合は、システム運用上、問題ありません。
202	Microsoft-Windows-DeviceSetupManager	警告	ネットワークリソースマネージャーは、インターネットに接続していないことをレポートしています。
	システム運用中		インターネット接続後に登録されていない場合は、システム運用上、問題ありません。
215	Microsoft-Windows-AppReadiness	エラー	<ユーザー> の 'ART:AppxPreRegistration' が失敗しました。 エラー: 'クラスが登録されていません' (13282283662.4891 秒)
	OS インストール中		継続して登録されなければ問題ありません。
359	Microsoft-Windows-PrintService	エラー	プリンターを追加しています、プリンター Microsoft Print To PDF をオフライン オペレーティング システム イメージにインストールしようとしたますが、Win32 エラー コード 587 (0x24b) で失敗しました。これは、プリンター ドライバーのインストール中にユーザー入力が必要な場合、またはユーザー インターフェイス (UI) が表示される場合に発生します。
	OS 初回起動時、OS インストール時、OS 再起動時		仮想プリンター(Microsoft Print To PDF) を利用できない可能性があります、最新の更新プログラムを適用すると改善されます。

ID	ソース	種類	メッセージ (説明)
	イベントログが登録されるタイミング		対応

### Windows Server 2025 【アプリケーションとサービスログ】

360	Microsoft-Windows-User Device Registration	警告	Windows Hello for Business provisioning will not be launched. Device is AAD joined ( AADJ or DJ++ ): Not Tested User has logged on with AAD credentials: No Windows Hello for Business policy is enabled: Not Tested Windows Hello for Business post-logon provisioning is enabled: Not Tested Local computer meets Windows hello for business hardware requirements: Not Tested User is not connected to the machine via Remote Desktop: Yes User certificate for on premise auth policy is enabled: Not Tested Machine is governed by none policy.
	OS 再起動時		Microsoft Azure AD に登録していない環境下で発生する場合は、問題ありません。
1001	Microsoft-Windows-Dhcp- Client	エラー	ネットワーク アドレスが <MAC アドレス> のネットワーク カードに対するアドレスをネットワーク (DHCP サーバー) からこのコンピューターに割り当てることができませんでした。次のエラーが発生しました: 0x79。ネットワーク アドレス (DHCP) サーバーから引き続き、アドレスの取得を試みます。
	OS 初回起動時、OS 再起動時		OS 再起動中に発生し、以降継続して発生していなければ、問題ありません。

## 改版履歴

版数（ドキュメント番号）	発行年月	改版内容
初版（CBZ-002473-414-00）	2025年3月	新規作成